

# 若手 職員へインタビュー

01

総務部門  
企画調整課  
一般職員



**Q** 東北厚生局に決めた理由を教えてください

私は東北出身で、地元で働きながら公務員として医療に関わる仕事がしたいという思いがありました。元々医療に関心があり、大学では生命科学を専攻していましたが、業務説明会で「医療機関での自己負担が3割で済むのは制度によるものであり、それを厚生局が支えている」と伺い、それまで当たり前感じていた制度が多くの人に支えられていることを知り、大きな驚きとともに興味を持ちました。生活に身近な制度を支える厚生行政の仕事に魅力を感じ、ここで働きたいという思いが強まりました。配属先にかかわらず厚生行政に関わることができることや、座談会で感じた職場の雰囲気の良さに惹かれ、入局を決めました。

**Q** 採用後を振り返ってみて

入局当初は、業務の進め方も社会人としての基本も分からず、一つひとつの業務に不安を感じる日々が続いていました。そんな中、充実した研修に加え、上司や先輩方からメールの作成や電話応対といった基礎的なことまで丁寧にご指導いただき、少しずつ仕事に慣れることができました。

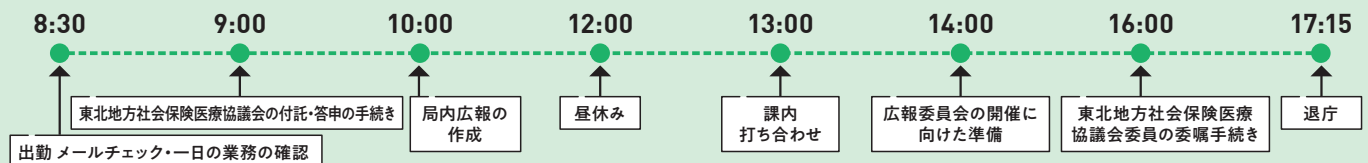
た。企画調整課という課の特性上、局内の他の課所室の方々とかかわる機会が多かったのですが、どの課所室の方も温かく接してくださり、調整が難しい案件に取り組む際には上司が同席して支えてくださるなど、安心して様々な経験を積むことができました。なかなか経験できないSNSの運営なども担当しており、楽しく仕事をさせていただいています。

**Q** 職場の雰囲気はどのようにですか？

職場の雰囲気はとても良く、働きやすさを実感しています。分からないことや不安なことがあっても相談しやすく、上司や先輩方がその都度丁寧にアドバイスをくださるため、一人で抱え込むことなく、安心して仕事に取り組むことができる環境です。

また、月に1回の休暇取得が推奨されており、入局してから毎月欠かさず休暇を取得することができています。職場全体として休暇を取りやすい仕組みが整っており、夏季休暇に年次休暇を組み合わせると1週間程度のまとまった休みを取得することも可能です。ワークライフバランスを大切にしながら、メリハリをつけて仕事ができる点も魅力だと感じています。

**ある1日のスケジュール**



02

総務部門  
年金管理課  
一般職員



**Q** 東北厚生局に決めた理由を教えてください

もともと、国という大きな枠組みだけではなく、地域に密着した業務まで幅広く携わることができる点や、専門的な分野において持続的な関わり方ができる点から、国家公務員の業務に魅力を感じていました。その中で、東北厚生局の業務説明会に参加し、大学時代の経験や自分自身の強みを活かしながら、医療の安全性確保や質の向上、地域医療構想の達成に寄与したいと考えようになりました。さらに、座談会で職員の方々と直接お話をした際に、責任感とやりがいをもって業務に向き合う姿勢や温かい人柄に触れたことで、東北厚生局の一員として厚生行政に貢献し、国民生活の現在と未来を支えていきたいという思いがより明確になったからです。

**Q** 採用後を振り返ってみて

振り返ってみると、学びの多い非常に充実した1年でした。年金に関する知識が乏しく、業務に難しさを感じることもありましたが、複雑な法令や制度について丁寧にご指導くださる上司の存在や、定期的に開催される課内勉強会への参加を通して、日々成長を実感しながら業務に当たることができたと感じ

ています。年金管理課では、市町村へ交付する交付金に関する業務を担当しており、市町村への書類の提出依頼や厚生労働省本省への報告業務などを行っています。実際に市町村へ赴き、審査業務を行う機会もありました。一つ一つの業務に責任感と正確性が求められるからこそ、無事に業務をやり遂げられたときの達成感は大きく、やりがいに繋がっていると感じています。

**Q** 職場の雰囲気はどのようにですか？

優しい方が多く、穏やかな雰囲気の職場だと感じています。落ち着いた環境の中で集中して業務を進められるとともに、小さなことでも相談しやすく、アドバイスをいただきながら着実に成長できる環境が整っていると思います。

採用1年目にはメンター制度があり、年齢の近い先輩職員とコミュニケーションを取る機会が設けられているため、1人で抱え込むことなく安心して働くことができました。

また、月1日以上休暇取得が推奨されており、上司からも声をかけていただくことが多いため、自分の予定に合わせて休暇を取得しやすい職場だと思います。私生活も大切に行うため、心身のリフレッシュを図りながらメリハリをつけて働くことができています。

**ある1日のスケジュール**



03

## 健康福祉部 地域包括ケア推進課 一般職員



### Q 東北厚生局に決めた理由を教えてください

人々の生活に密接に関わる医療・年金・介護などの業務に携わることができるからです。特に厚生局では、間接的にはありますが、東北管内のより多くの地域住民の皆様に対して、貢献することができる点も大きな魅力だと思います。

また、面接の際、面接官の方がこちらのことをよく知ろうとしてくださっているのが伝わり、そこから働きやすい、風通しの良い職場だと直感的に思ったことも理由の一つです。入局して1年経ちましたが、今でもその時の印象は間違っていないかと思っています。

### Q 採用後を振り返ってみて

この1年間は、非常に多くの貴重な経験をさせていただきました。メイン業務は補助金等の審査業務を担当しました。お金を扱う業務のため、ミスがないように上司と常に相談しながら取り組んでいました。また、市町村からの疑義照会対応も経験し、介護保険制度についても少しずつ知識を身に付けることができました。

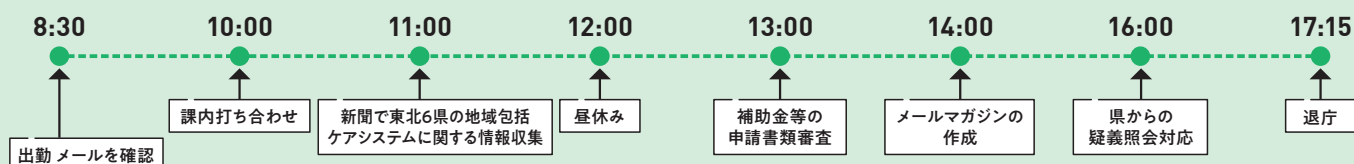
さらに、市町村への伴走支援にも参加し、実際に「通いの場(サロン)」の見学や、市町村の持つ課題に対して多くの関係者と共に解決策を導き出していくという現場に近い視点で学ぶことができ、貴重な経験を積むことができました。

### Q 職場の雰囲気はhowですか？

年次休暇を取得するように上司から声かけをしていただけるため休暇をとりやすく、テレワークもできるので、プライベートとの両立をしやすい職場だと思います。また、今年度から15分単位でも休暇を使えるようになったため、より休みやすい環境になったと思います。

また、地域包括ケア推進課は市町村や病院からの出向職員や市町村出向経験がある職員など現場を知っている方が多いです。そのため、普段の業務では知ることのできない現場感を知ることができ、自分の業務がどこにどのように繋がっているのかを知ることができるため、やりがいにも繋がると思います。

### ある1日のスケジュール



04

## 指導部門 山形事務所 一般職員



### Q 東北厚生局に決めた理由を教えてください

東北厚生局は医療福祉分野に関連する国の施策を実行する機関です。公務員になるからには、人々の暮らしの向上に繋がりがやすい分野で働きたいと考えていたため、医療福祉という国民生活には必要不可欠な領域に携わることができる東北厚生局に決めさせていただきました。

### Q 採用後を振り返ってみて

1～2年目は、健康福祉課で自治体に交付する補助金業務を担当しました。補助金の審査等、入局当初から裁量の大きい業務を経験することができたと思います。3年目は山形事務所に異動し、医療機関等からの申請書・届出書などの確認や疑義照会への対応を担当しております。事務所は本局と比較すると少人数で業務を行う必要があるため、職員同士の連携が求められ、また、医療機関の職員の方など、対外的なやりとりも多い部署で

あることから、改めて社会人としての心構えを学ぶ日々です。

厚生局は医療福祉の分野がメインですので、同期や同世代の人と業務内容が共通することも多く、横のつながりで協力し合って仕事ができるこの職場で働くことができ良かったと感じています。

### Q 職場の雰囲気はhowですか？

各県事務所は、本局に比べると比較的小規模な体制なので、上司にもよりダイレクトに相談しやすい環境だと感じています。また、残業などが多くなれば、お声がけしていただいたり、業務量が多くなればフォローに回っていただいたりなど、上司・同僚の皆さんも親身に接していただけます。一致団結して物事に取り組む雰囲気がある、とてもフランクな働きやすい職場だと思います。写真の笑顔は本物です。

### ある1日のスケジュール

